



第1回社叢インストラクター資格認定試験問題

2008年3月9日 伏見稲荷大社にて実施



筆記試験Ⅰ【10:00～11:00】：下記のうち1題を選択し、2,000字以内で記述（課題は事前に提示）配点=100

問題1：A県のB神社には、小面積ながら社殿の周囲にうっそうとした自然性の高い森が残り、県の自然環境保全地域に指定されている。また、境内に生育するタブノキの大木は目通りの直径が2mを越え、県の天然記念物に指定されている。地元の氏子の人たちは、神社と森を大事にして、毎週、境内を清掃し、ゴミや落ち葉をきれいに掃き清めてきた。ところが最近、このタブノキの樹勢の衰えが目立つようになり、枯れてしまう恐れが出てきた。社叢の中にもシュロやトウネズミモチ、ピラカンサなど、以前は見られなかった植物が増えて森の様子が変わってきた。氏子達で今後の対応について相談したところ、タブノキの幹や枝に付着したシダやコケを取り去って樹肌をきれいにしたらどうか？ という意見や、これまでは放置してきた社叢についても、多少の下刈りをするなど手入れをしたほうがよいのではないかと、という意見が出ている。タブノキの大木や自然性豊かな社叢を守るにはどうしたらよいだろうか。あなたの考えを述べなさい。

問題2：社叢について、生態学的な見地からその意味を論述しなさい。

筆記試験Ⅱ【11:10～12:10】 配点=200

問題1：西日本の平地に見られる良好な社叢を構成するには不相当と思われる樹種に○をつけ、その理由を簡単に述べなさい。配点=15+15

イチイガシ・シュロ・コジイ（ツブラジイ）・サカキ・クロガネモチ・キョウチクトウ・アカマツ・カナメモチ・ムクノキ・ヤブツバキ

問題2：次の樹木のうち、東北地方の社叢にはあまり見られない樹種に○をつけなさい。配点=10

サカキ・ケヤキ・スギ・ブナ・スダジイ

問題3：次の樹種のうち、海岸に多い常緑広葉樹で、東北地方北部にまで自生している種に○をつけなさい。

配点=10

ホルトノキ・アカガシ・タブノキ・クスノキ・アコウ

問題4：次の森林のうち、常緑広葉樹林帯と落葉広葉樹林帯の境界域の代表的な自然林に○をつけなさい。

配点=10

イチイガシ林・モミ林・ブナ林・ウバメガシ林・スダジイ林

問題5：社叢の動物調査で気をつけないといけない有害動物の例を5種(類)あげなさい。配点=20

問題6：国土地理院の1/2.5万の地形図に、以下の土地利用や施設はどのような記号で表されているか。

()内に該当する番号を記入しなさい。(図示略) 配点=20

針葉樹林・神社・田・竹林・史跡・名勝・天然記念物・荒地・果樹園・畑・森林管理署

問題7：上の問題(6)の「針葉樹林」とはなにをさすか。現存する群落の樹種名に「林」をつけて5種(類)あげなさい。配点=20

問題8：上の問題(6)の「広葉樹林」とはなにをさすか。現存する群落の樹種名に「林」をつけて5種(類)あげなさい。配点=20

問題9：社叢を舞台に、野鳥による種子散布について述べなさい。配点=20

問題10：社叢を守るために講じられる各種の方策について、社叢インストラクターの立場から見て正しいものに○、間違っているものに×を()内に記入し、×については、その理由を簡単に述べなさい。

配点=40

1. 保存樹・保存樹林の指定等の保護策を講じる。()
2. 塀で囲み、周囲から見えなくするとともに、立ち入りを禁止して、破壊から社叢を守る。()
3. みんなで社叢を守る運動を広げる。()
4. 社叢の所有者や周辺の自治会等に働きかけて、子供たちの環境学習、地域学習の場として活用を図り、社叢の大切さを普及啓発し、こうした活動を通じて、社叢の保全育成をはかる。()
5. 近隣住民からの苦情をさけるため、日照障害や落ち葉の散乱を招く恐れのある大木をすべて伐採除去し、中低木中心の林にかえる。()